

- ・本資料は、当社の経営方針等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

2018年3月期 決算説明会資料

取締役社長
新芝 宏之

2018年5月10日

岡三証券グループ



目次

1 2018年3月期の業績について

- ・2018年決算のポイント
- ・商品構成の推移
- ・販売費・一般管理費の推移
- ・ROEの推移
- ・株主還元(安定配当)

2 岡三証券グループの概要

- ・当社グループの概要
- ・数字で見る岡三証券グループ
- ・当社グループのポジション

3 グループ経営戦略

- ・「稼ぐ力」現在の取り組み
- ・「稼ぐ力」各ビジネスユニットの強化策
- ・「稼ぐ力」グループ全体の強化策
- ・「稼ぐ力」強化策
- ・これまで <商品ポートフォリオの変化>
- ・これから <ビジネスポートフォリオの再構築>
- ・たとえば <アセットマネジメントの再構築>
- ・アセットマネジメントビジネス 現況①
- ・アセットマネジメントビジネス 現況②
- ・岡三アセットマネジメントの注目商品

4 100周年に向けて

- ・創業100周年までのビジョン
- ・中期経営計画の概要
- ・重点施策
- ・新規プロジェクトの立ち上げ
- ・総括

1

2018年3月期の業績について

2

岡三証券グループの概要

3

グループ経営戦略

4

100周年に向けて

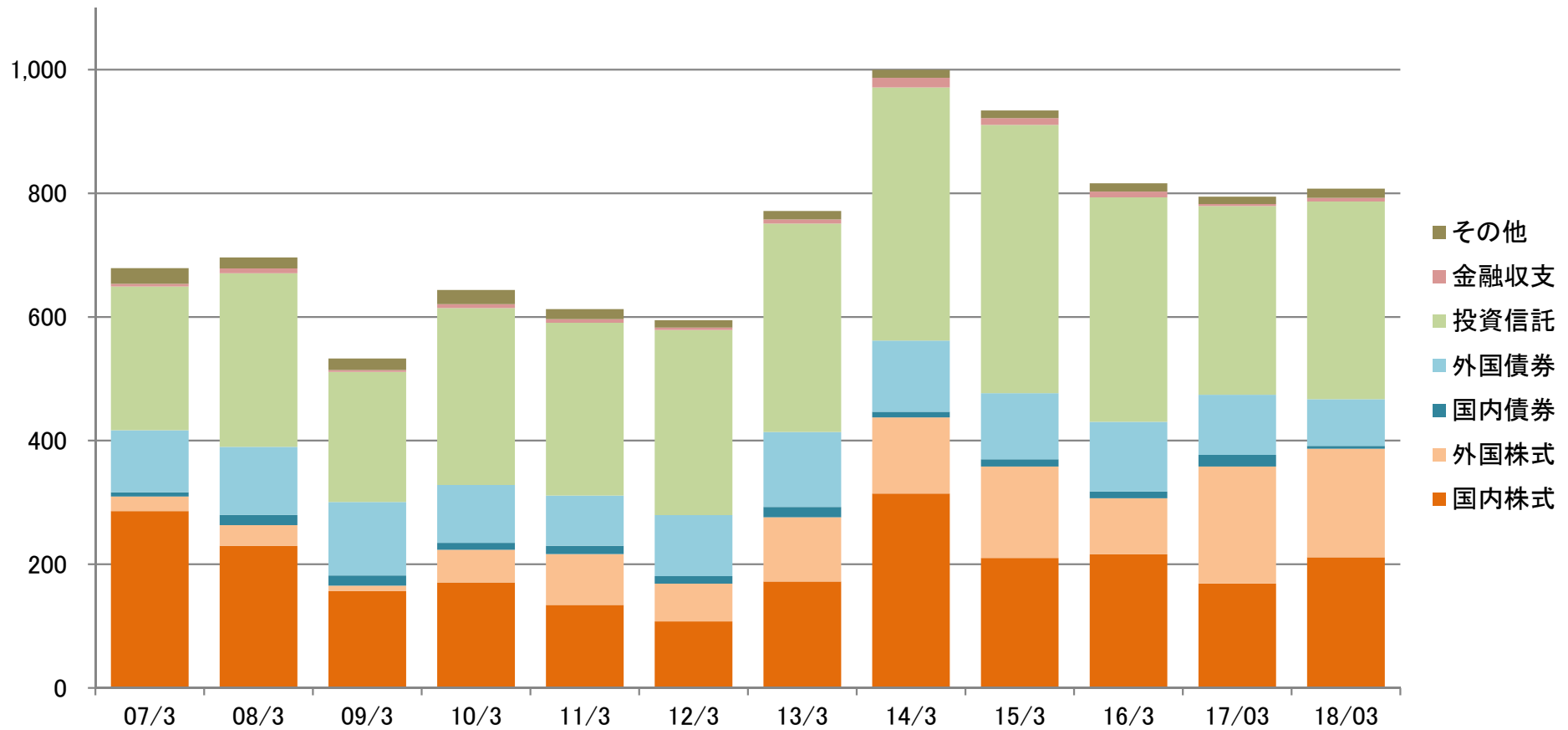
2018年3月期 決算のポイント

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	前年比
営業収益	80,640	81,921	+1.6%
営業利益	14,155	11,720	-17.2%
経常利益	15,425	12,771	-17.2%
親会社帰属当期純利益	10,486	5,825	-44.2%
純資産	178,256	180,048	+1.0%
ROE	6.9%	3.7%	-3.2p
1株当たり純資産	792円05銭	791円46銭	-59銭

商品構成の推移(連結、純営業収益ベース)

(億円)



販売費・一般管理費の推移

(決算説明資料 P.9)



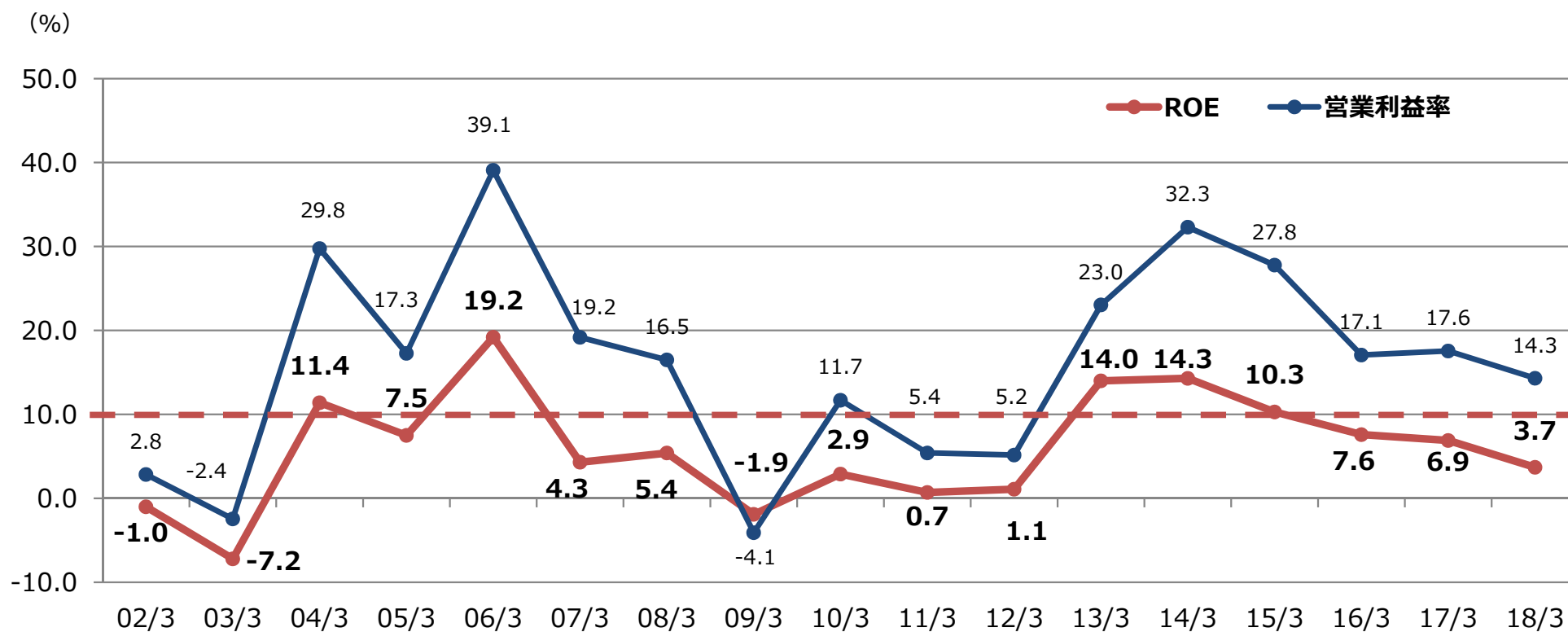
(単位：百万円)

	FY17.3 累計	FY18.3 累計	増減率
取引関係費	12,808	13,164	2.8%
人件費	32,408	33,817	4.3%
不動産関係費	6,794	7,462	9.8%
事務費	5,773	6,432	11.4%
減価償却費	3,504	3,608	3.0%
租税公課	1,196	1,287	7.6%
その他	2,820	3,264	15.7%
販売費・一般管理費	65,306	69,037	5.7%

ROEの推移

● 連結ROEは3.7%に低下

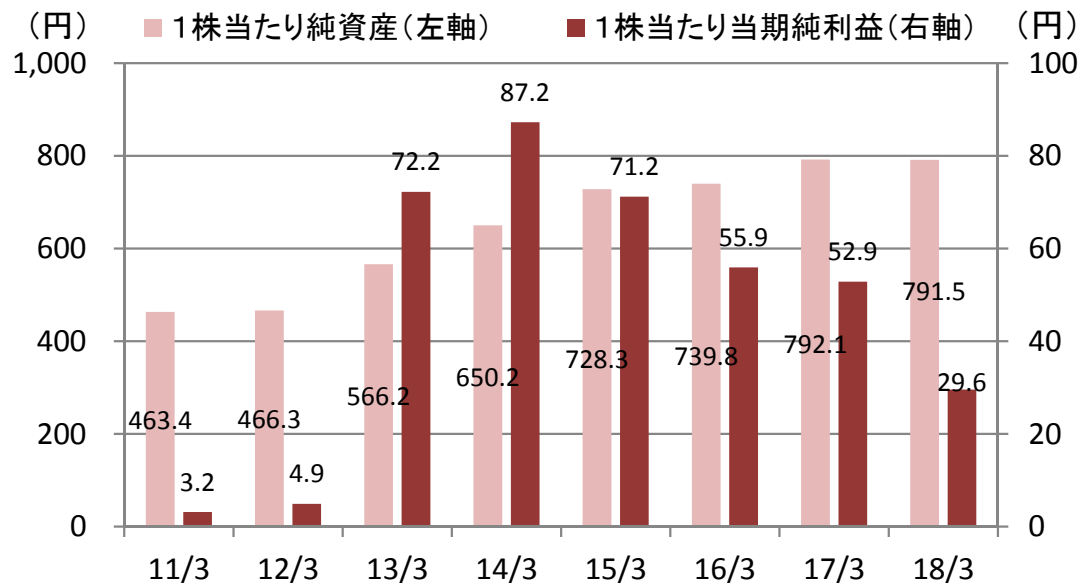
(目標)
連結ROE長期安定的に10%



株主還元(安定配当)

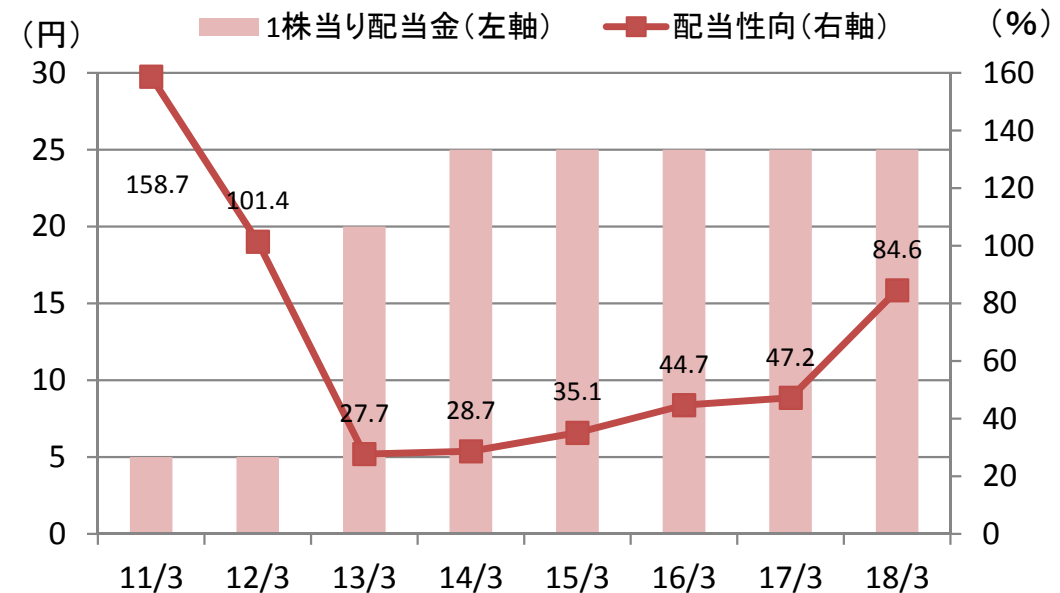
- 安定的な配当の維持・継続を勘案し、業績に応じた配分を実施
- 資本充実とROEのバランスを考慮

1株当たり利益および純資産の推移



いずれも連結ベース。数値は小数第2位以下を四捨五入。

配当金および配当性向の推移



配当性向は連結ベース

1

2018年3月期の業績について

2

岡三証券グループの概要

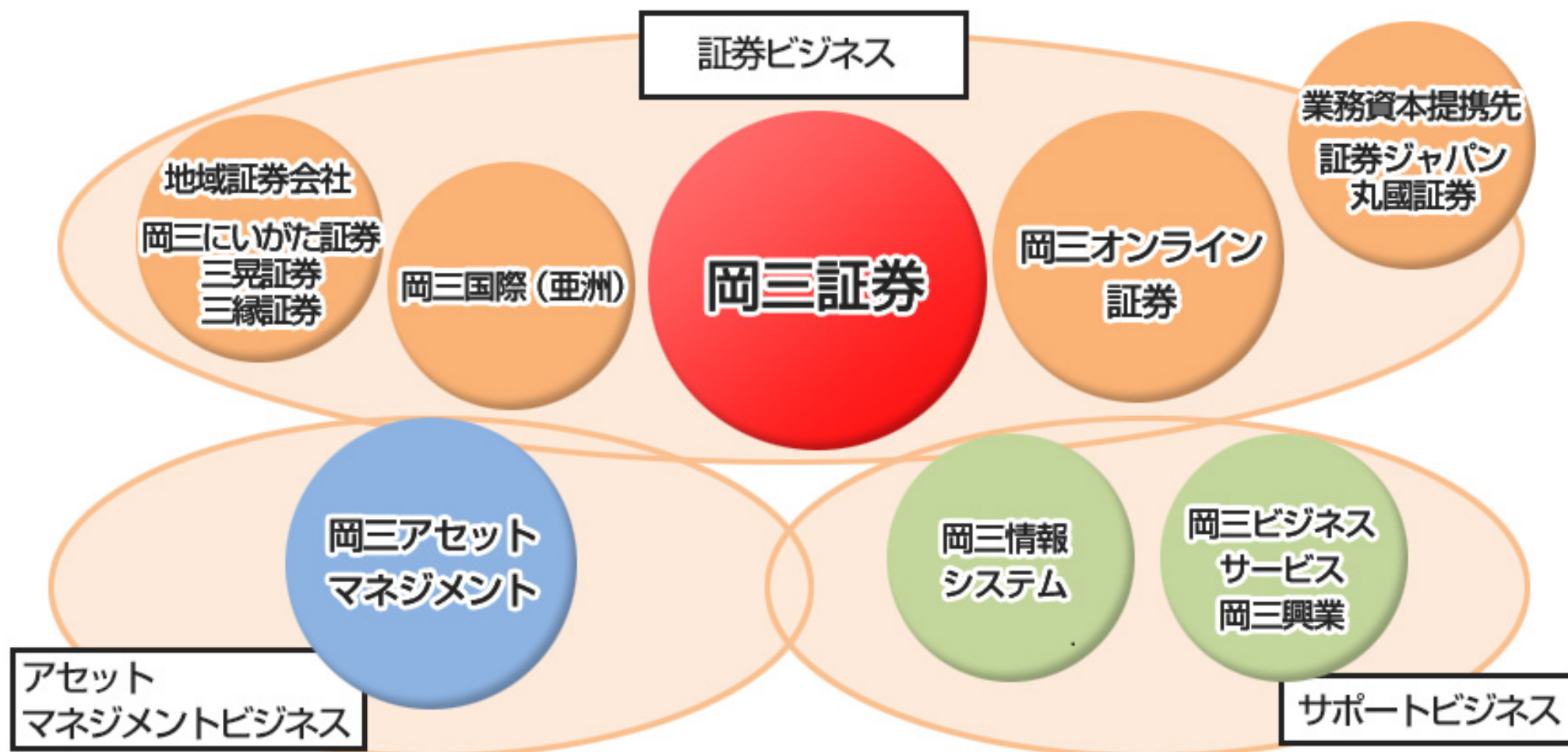
3

グループ経営戦略

4

100周年に向けて

当社グループの概要



数字で見る岡三証券グループ

預り資産
5.3兆円

口座数
73.7万口座

グループ拠点数
93拠点
(海外拠点含む)



投信販売会社数
181社

アライアンス体制
19社

システム提供先
14社

友好証券・新友好証券
含む拠点数

143拠点

当社グループのポジション(18/3期)

岡三証券

順位	営業収益(億円)		預り資産(兆円)	
1	野村	6,898	野村	117.7
2	SMBC日興	3,760	大和	68.1
3	大和	3,588	SMBC日興	61.6
4	みずほ	3,268	みずほ	44.4
5	三菱UFJMS	2,620	三菱UFJMS	38.7
6	東海東京	737	岡三	4.7
7	岡三	632	東海東京	4.7

※野村証券の預り資産は営業部門の値

※三菱UFJMS証券の預り資産は、三菱UFJPB証券との合算値

岡三オンライン証券

順位	口座数(万口座)	
1	SBI	426.1
2	楽天	261.1
3	マネックス	176.1
4	松井	113.6
5	カブドットコム	108.7
6	GMOクリック	33.9
7	岡三オンライン	17.2

岡三アセットマネジメント

〔公募投信残高〕

順位	運用会社	18/3末	
		運用残高(兆円)	シェア
1	野村	30.0	27.4%
2	大和	15.6	14.3%
3	日興	14.2	13.0%
4	三菱UFJ国際	10.1	9.2%
5	AM-One	8.4	7.7%
6	三井住友TA	3.5	3.2%
7	三井住友	3.0	2.7%
8	フィデリティ	2.7	2.5%
9	大和住銀	2.2	2.0%
10	ニッセイ	2.1	1.9%
11	アムンディ	1.3	1.2%
12	ピクテ	1.2	1.1%
13	BRJ	1.2	1.1%
14	ゴールドマン	1.2	1.1%
15	岡三	1.1	1.0%
16	東京海上	1.1	1.0%
17	JPモルガン	1.0	0.9%
18	レグメイソン	0.7	0.7%
19	レオス	0.7	0.7%
20	UBS	0.6	0.6%

1

2018年3月期の業績について

2

岡三証券グループの概要

3

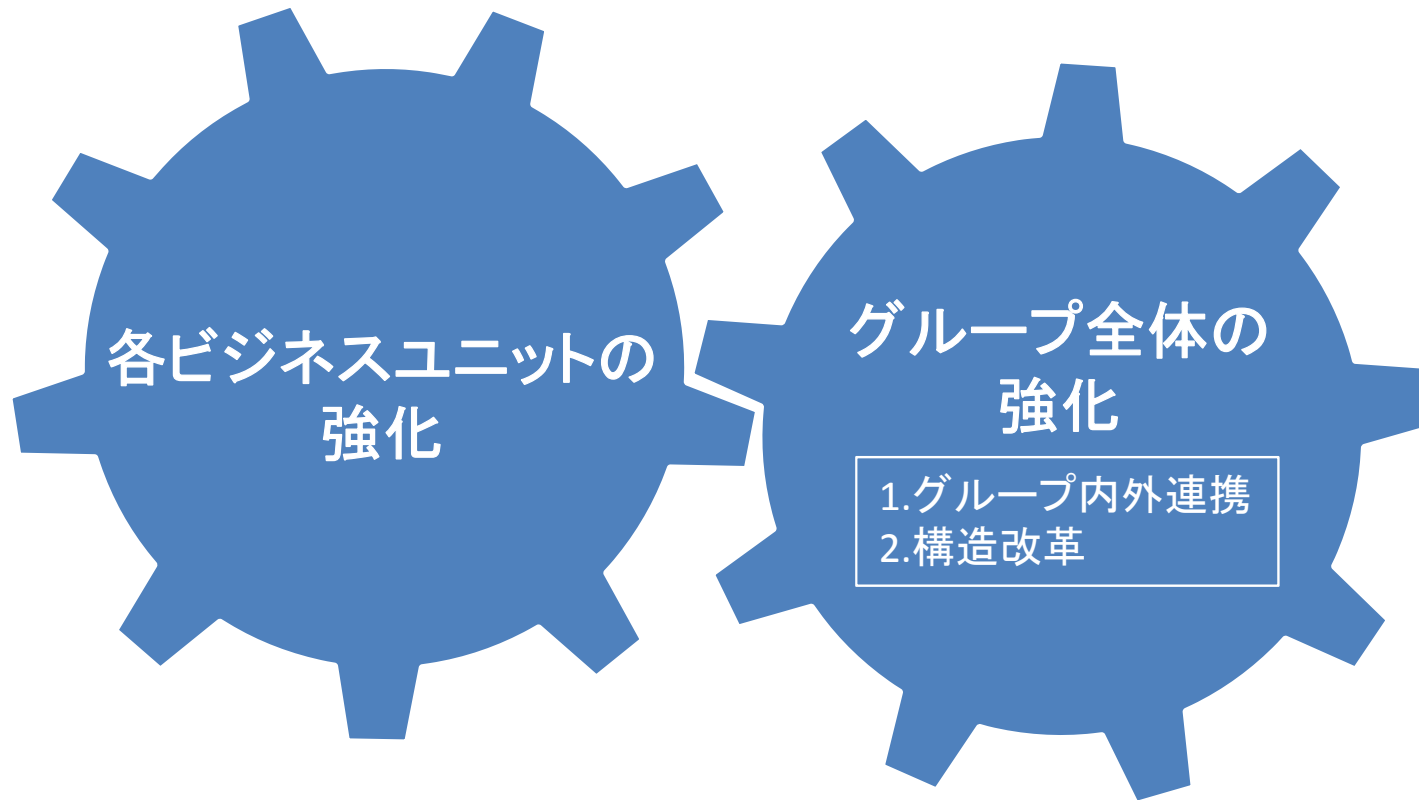
グループ経営戦略

4

100周年に向けて

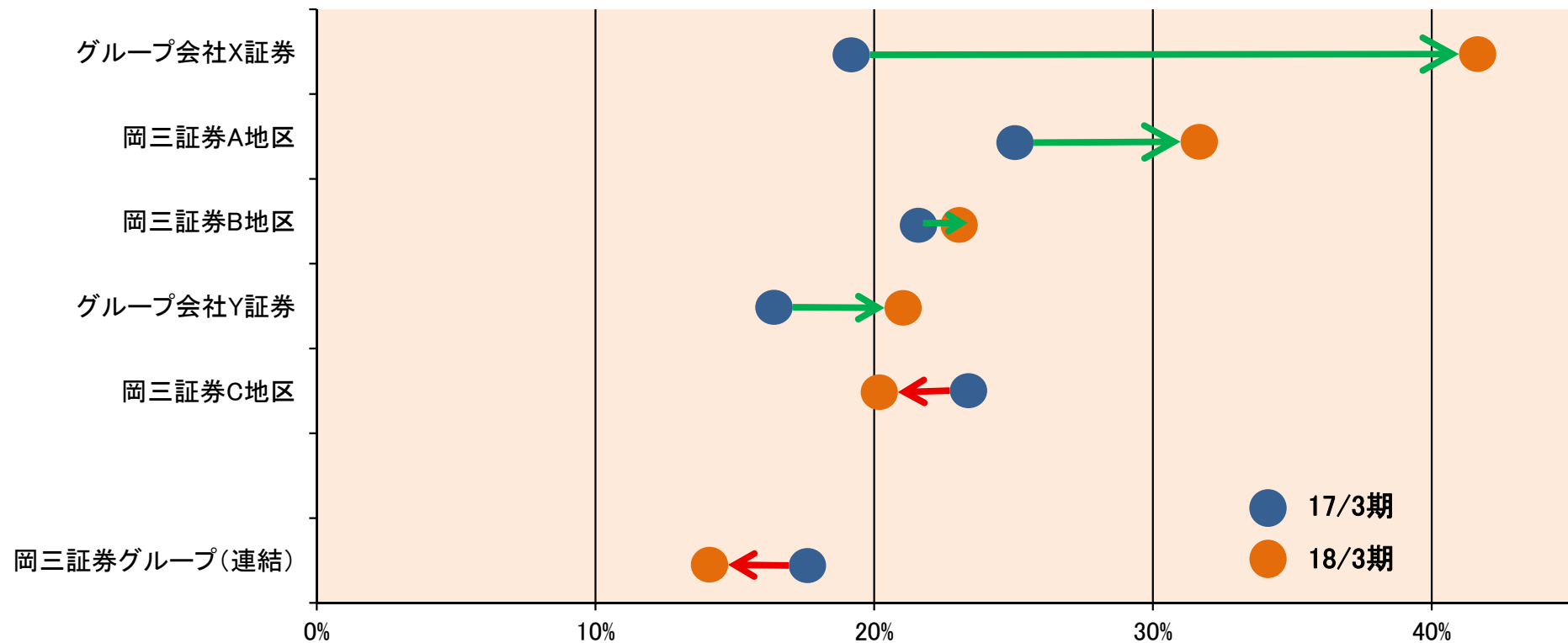
「稼ぐ力」 現在の取り組み

- 「各ビジネスユニットの強化」と「グループ全体の強化」の両輪



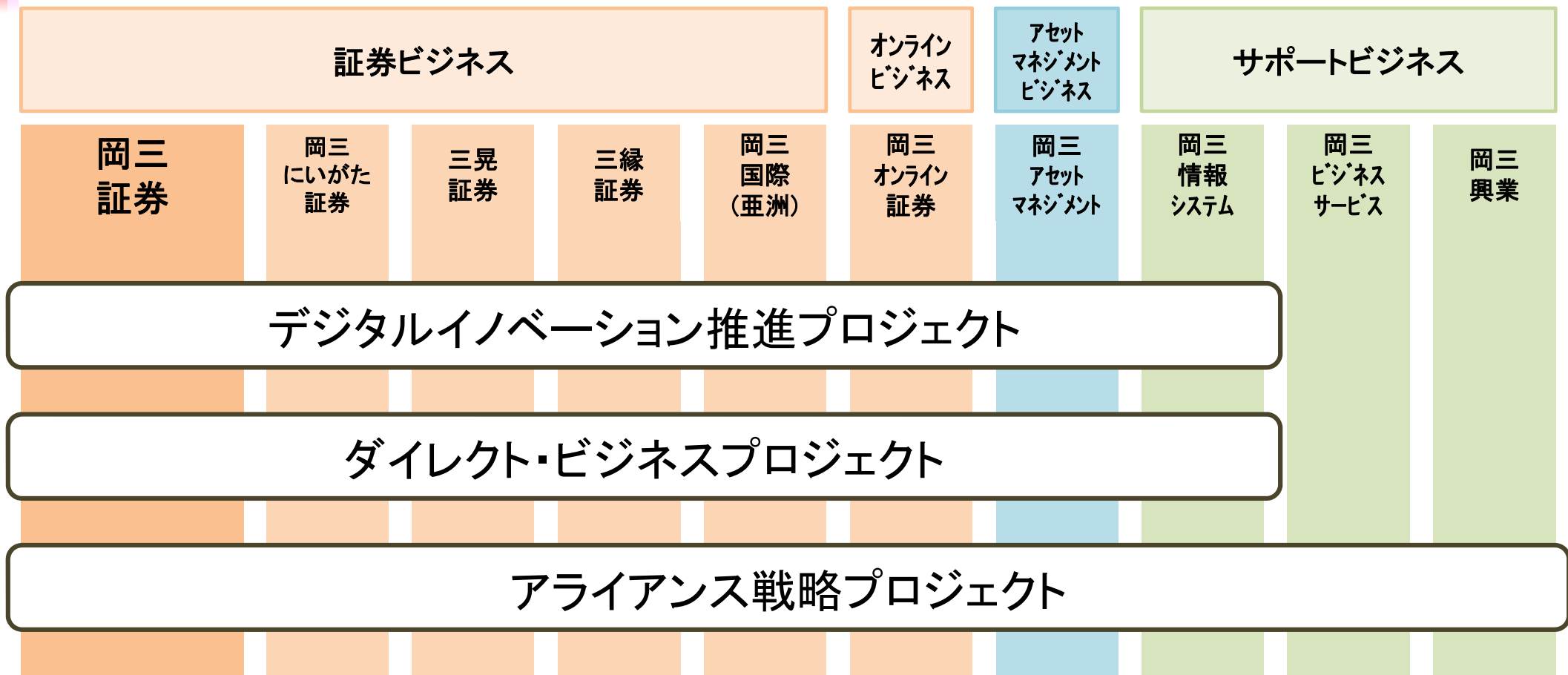
「稼ぐ力」 各ビジネスユニットの強化策

営業利益率の変化

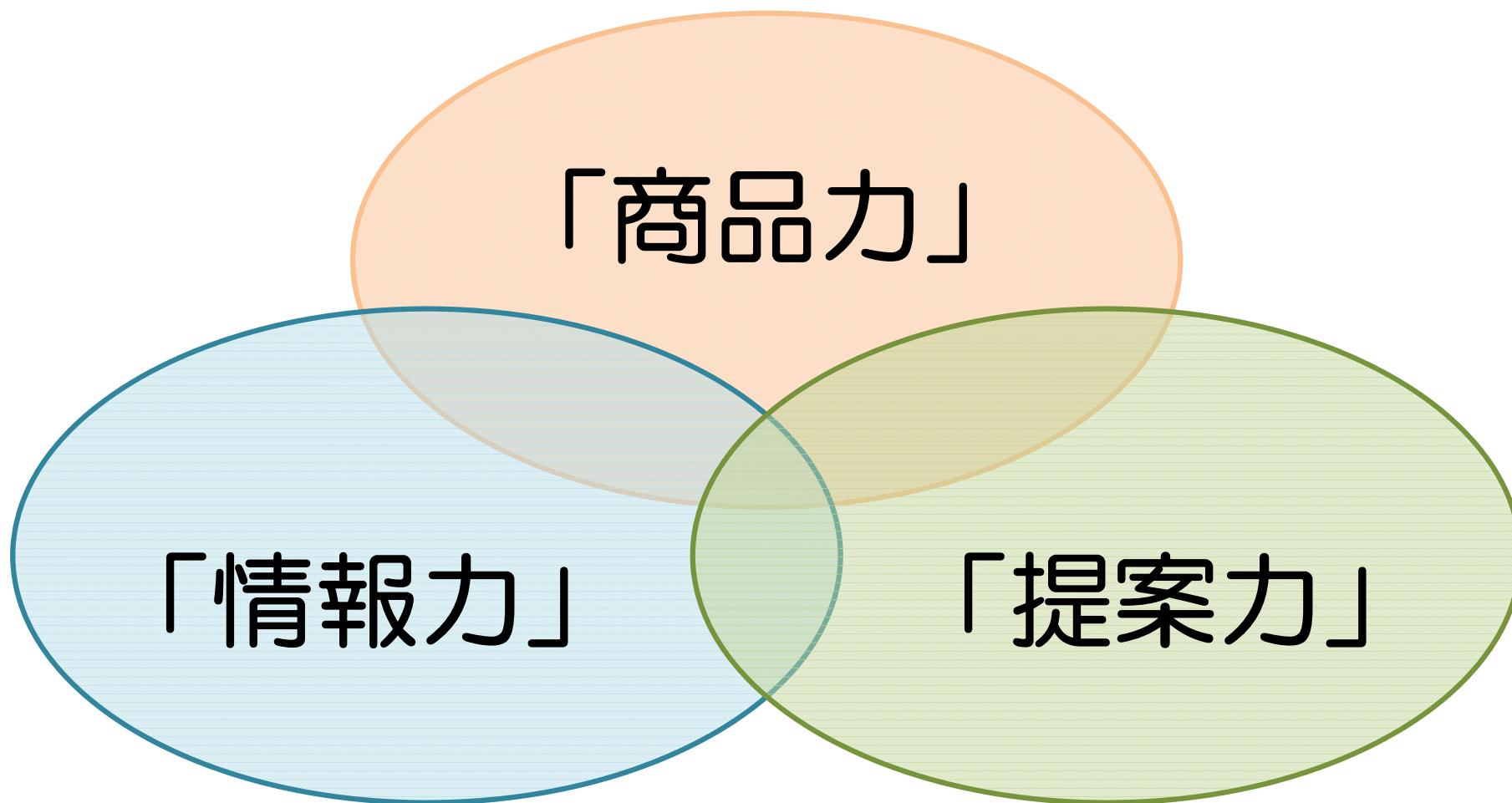


※岡三証券各地区の営業利益率は管理会計ベース

「稼ぐ力」 グループ全体の強化策（内外連携）

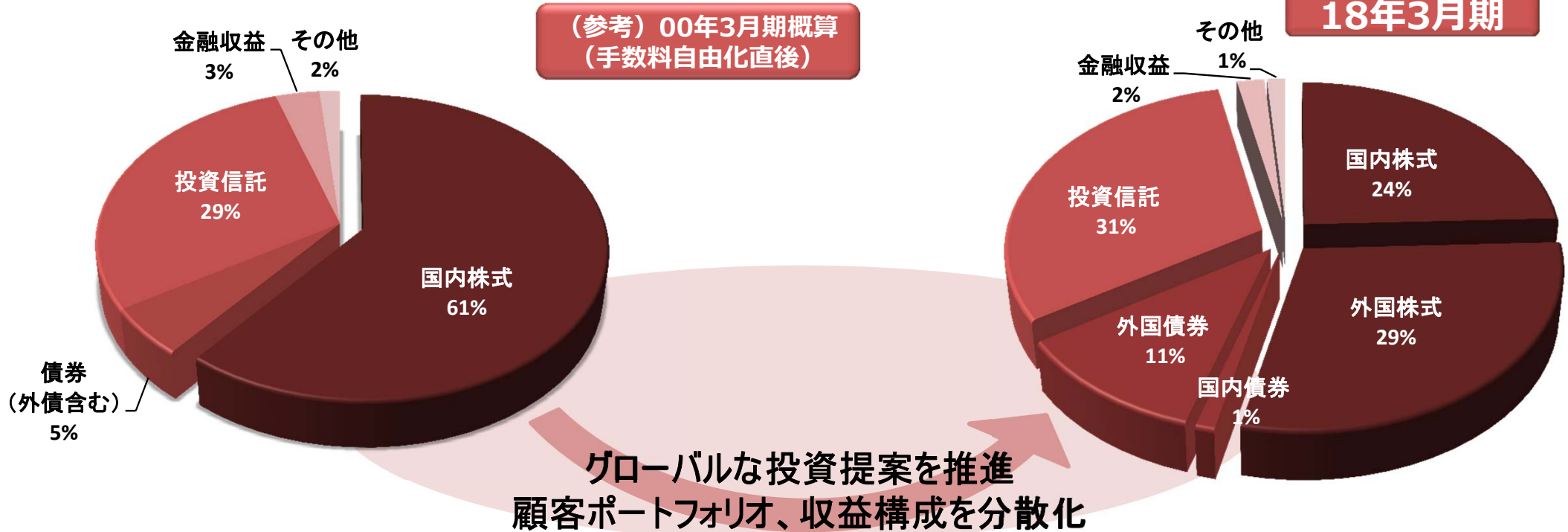


「稼ぐ力」強化策 いままでもこれからも



これまで <商品ポートフォリオの変化>

- グローバルな投資提案を推進し、外国株式・債券が増加。投資信託も海外資産型中心に。
- 国内株式への依存度は2割程度に
- 顧客ポートフォリオと収益構成が多様化、分散化



これから <ビジネスポートフォリオの再構築>

グローバルでの規制強化

- ・フィデューシャリー・デューティ(日・米)
- ・MiFID II (欧)

コミッションからフィーベースへの潮流

- ・株式委託手数料「0」の衝撃
- ・投資信託のノーロード化

テクノロジー革命

- ・ロボアドバイザー(業者を代替する可能性)
- ・RPA(働き方改革)



ビジネスポートフォリオの 再構築

たとえば <アセットマネジメントビジネスの再構築>

今後、手数料も信託報酬等のフィーもさらに下がっていく

米国の金融機関では、運用会社のグループ化に回帰
運用報酬を収益の柱に

今後、日本でも同様の動きが想定される

運用報酬の獲得が次の時代のキーとなる

運用会社の役割が非常に重要

アセットマネジメントビジネス 現況 ①

- グループ外の販売会社網を拡大中。
- 岡三証券との残高の重なりは半分以下。岡三ブランド浸透へ。

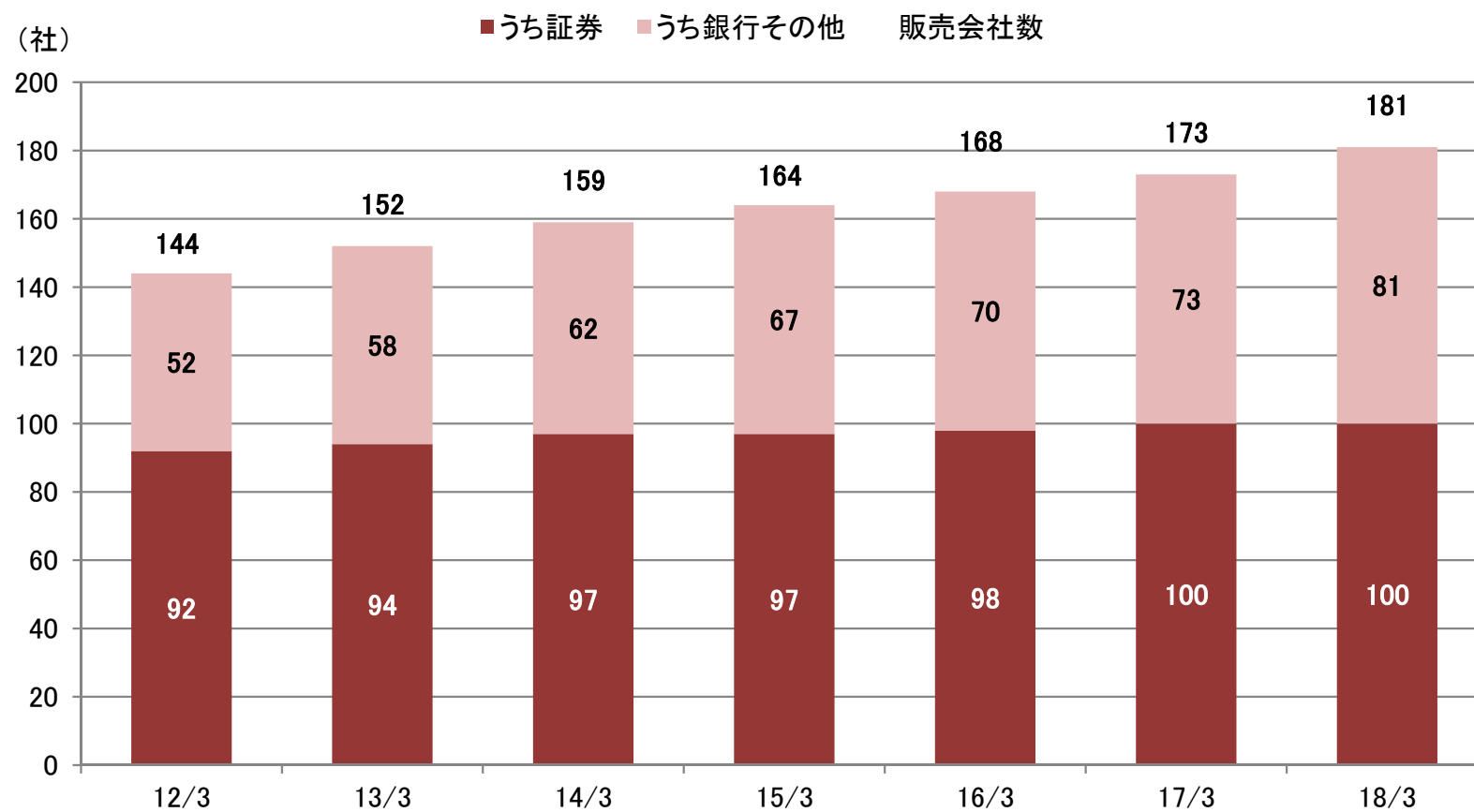
岡三証券
投信預り残高
1.6 兆円

うち、重複
0.8 兆円

岡三アセットマネジメント
投信運用残高
1.6 兆円

アセットマネジメントビジネス 現況②

販売会社数の推移



岡三アセットマネジメントの注目商品

成長企業を買う 運用力・調査力

ニッポン創業経営者ファンド

(愛称:リーダーズ)



企業成長の源泉となる創業経営者の
能力に着目

次世代モビリティオープン



次世代モビリティに関連する技術・
製品・事業モデルに着目

中小型成長株オープン

(愛称:スモールモンスタースジャパン)



見過ごされている成長企業が変貌
することに着目

1

2018年3月期の業績について

2

岡三証券グループの概要

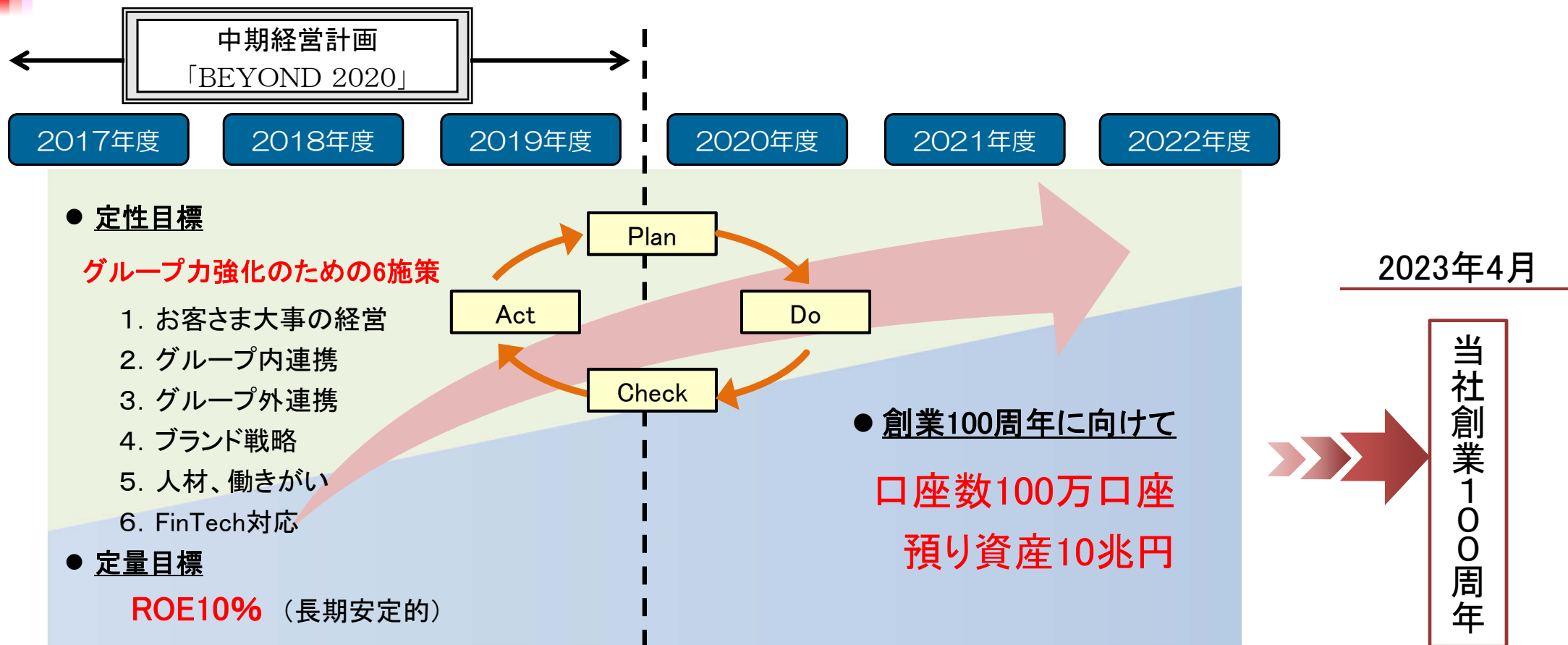
3

グループ経営戦略

4

100周年に向けて

創業100周年までのビジョン



中期経営計画の概要

経営哲学：お客さま大事

投資アドバイスのプロフェッショナルとして、お客さま一人ひとりに合ったサービスをご提供し、お客さまにとって最善の利益を追求するという経営哲学は不変です。

社会的使命：3つの宣言

お客さまの「資産形成」「資産運用」から「資産管理」に至るニーズにお応えするという社会的使命に資することで成長を続けてまいります。

<ステークホルダーへの3つの宣言>

(1)お客さまに対して

我々は、お客さまの利益に資するため、投資アドバイスのプロフェッショナル集団となります。

(2)社員に対して

我々は、社員の働きがいに資するため、より一層「誇り」を持てる会社となります。

(3)株主に対して

我々は、株主の期待に応えるため、企業価値を高めます。

目 標

定性目標

グループ力強化6施策

1. お客さま大事の経営
2. グループ内連携
3. グループ外連携
4. ブランド戦略
5. 人材、働きがい
6. FinTech対応

定量目標

ROE 10%

会社成長とともに、長期安定的な目標としてROE 10%を達成します。

創業100周年に向けて

創業100周年までの早期にグループ全体で「100万口座」、預り資産「10兆円」の達成を目指します。

重点施策

- ・経営の意思決定のスピードアップ
- ・中長期の「稼ぐ力」を高めるために、
グループ横断、組織横断プロジェクトを推進

新規プロジェクトの立ち上げ

働きがい推進

デジタルイノベーション推進

ダイレクト・ビジネス戦略

アライアンス戦略

ベンチャーキャピタル

お客さま本位業務運営推進

業務改革推進



商品戦略

グローバル戦略

アセットマネジメント戦略

総括

1. これからも 商品力・情報力・提案力の強化
2. これからは ビジネスポートフォリオの再構築
3. 岡三証券グループのブランド力を高め、企業価値の向上